



ネギベと病の防除を徹底しましょう！

茨城県病害虫防除所では、5 月 31 日付けでネギのべと病に関する病害虫速報を発表し注意を喚起しています。下記を参考に防除を徹底してください。詳細は

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/byobo/boujosidou/yosatsujoho/documents/sokuhour06-5.pdf> を参考に願います。

現在の状況

- ① 5 月下旬現在、ネギベと病の発病度は県央、県西地域で平年より高く、県南地域では平年よりやや高い。発生地点率は全県で平年より高い。
- ② 気象予報によると、向こう1 月の降水量は平年より多いと予想され、発生を助長する条件である。特に低温、多雨条件が続く場合には発病の進展に注意が必要である。



写真 1 初期症状



写真 2 多発圃場

防除対策

- ① 伝染源となる発病株や被害残渣は、圃場外に持ち出して適切に処分する。
- ② 薬剤散布は、必要に応じて展着剤を加用し、散布むらのないよう丁寧に行う。
- ③ 前年多発した圃場では発生状況に注意する。また、被害残渣中で胞子(卵胞子)や菌糸の形で越冬し、次作での伝染源となるため、多発した圃場では連作を避ける。

べと病に対する主な防除薬剤一覧

(令和 6 年 6 月 4 日現在)

薬剤名	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数	有効成分の種類	同作毎の総使用回数	分類
ジマンダイセン水和剤	600	収穫 14 日前まで	3 回以内	マンゼブ	3 回以内	M03
ダコニール 1000	1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	T P N	4 回以内 (但し、土壌灌注は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 3 回以内)	M05
フォリオゴールド	800 ~ 1000	収穫 14 日前まで	3 回以内	メタキシル及びメタキシル M	5 回以内 (但し、種子への処理は 1 回以内、土壌混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)	4
				T P N	4 回以内 (但し、土壌灌注は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 3 回以内)	M05
オロンディスウルトラ SC	2000	収穫 7 日前まで	2 回以内	オキサリジンプロリン	2 回以内	49
				マンジプロパミド	2 回以内	40
アミスター20フロアブル	2000	収穫 3 日前まで	4 回以内	アゾキストロビン	5 回以内 (但し、粒剤は 1 回以内、水和剤は 4 回以内)	11
アリエッティ水和剤	800	収穫 3 日前まで	3 回以内	ホセチル	3 回以内	P07
ランマンフロアブル	2000	収穫 3 日前まで	4 回以内	シアゾファミド	4 回以内	21

注) 分類欄には、FRAC コードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。